

都岳連主催雪上搬送法 2012年2月2日 覚え書き

1. ツェルトは保温でなく、滑らせるため
2. テントマットでの保温は、雪を受けるのでテールを優先
3. テントマットは裏が保温面なので、裏を上にする。
4. ザックの断熱とクッション：ザックの凹凸が要救の動きを抑えてくれる
5. セーター等、枕の代用になるものをアマブタに
6. あればシュラフカバーを敷く
7. マミー型は入りづらいのでサイドをナイフで切ってしまう（保険がきく）
8. 頭部がぐらつかないように、きちんと抑えてヒューマンチェイン
9. くつひもはゆるゆるにして、軽くテーピングテープで寄せる。
10. 手も軽く上にまとめる。顔を触りたくなる事が多いので、できれば顔の近くに
11. 梱包が完成するまで、セーター等で頭を保温
12. 人間の体はカーブしている→ひざ下にウエアなどをいれると安定する。

- ① ひざより少し下にアンカー作成（体側のできるだけ底面に、カラビナを入れて何回もひねる、絞り込んだ方が強度的にも強い→別の方がクローブヒッチ（スリングの縫い目の脇）準備。アンカーは左右いっぺんにやらない、どっちか片方ずつ。
- ② 腰の少し上にアンカーポイント（左右）
- ③ 肩の上にアンカーポイント（左右）
- ④ ツェルトで要救をくるむ
- ⑤ 縦軸のセンター位置を決めたら、片方のスリングに結び目を作り、その部分にシートベンド（左右の連結）
- ⑥ ⑤と同様を腰の上にも
- ⑦ 肩のスリングがV字になるように肩のスリングと⑥のスリングを連結、スリングが足りない場合は1本追加（たいてい足りない）して連結。
- ⑧ テールのアンカー作成
- ⑨ 10mロープの中間部にループを作り、テールのアンカーにクローブヒッチで固定
- ⑩ 10mロープを左右のアンカーにクローブヒッチで固定していく。この時。進行方向のロープが下になるような形で2回アンカーに巻けばクローブヒッチができる。